

# プロパンガスは、正しく使用しましょう。 「安全点検」無事故で笑顔の楽しい暮らし…

## 容器は正しく取付けましょう

- 直射日光の当たらない場所に置きましょう。
- 軒下や庇等日当たりが多い場所に置くときは、おおいをつけて、直射日光をさげましょう。また、暑いところや霜が多いところでは、容器小傷や凍りなどがいかなどの故障の原因にもなります。
- 転倒防止用のクサリをつけておきましょう。
- 転倒防止のため、コンクリート板などの台に置きましょう。



## LPガスの性質を知っておきましょう

- 空気の約1/3の比重があり、漏れると軽いところや壁の付いたまわりがたまりやすくなります。
- エイが付いてあります。(LPガスそのものは無臭無味ですが、漏れた場合、すぐわかるように臭い成分を付けたようになっています。)
- グリーンガスです。(LPガスには、人体に有害な一酸化炭素は含まれていません。)
- 赤い、すく、黄くもします。



## いつも青い炎で使いましょう

- ガスコンロの温度が上がり、黄炎や赤炎の炎つきなどは、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因にもなります。時々、ブラシなどで掃除してください。

- 完全燃焼 - 一定量した青い炎で燃えます。
- 不完全燃焼(空気が不足) - 黄赤色の炎で、冷めやすくて熱いお湯できません。
- 不完全燃焼(空気が過剰) - コーッと青をばら、炎が弱んで消えることがあります。



## 火災や地震など、災害の際はあわてずに

- 火災の際は - 消防へ通報し、消防職員などに商品の位置を知らせ、後の対応をお願いします。

- 地震の際は - 火災を原因とし、器具・ガスのパイプを揺らめけてください。ゆれる大きなときは、容器も揺らめけてください。

- 火災の際は - 消防へ通報し、消防職員などに商品の位置を知らせ、後の対応をお願いします。
- 地震の際は - 器具・ガスのパイプを揺らめけてください。ゆれる大きなときは、容器も揺らめけてください。
- 火災の際は - 消防へ通報し、消防職員などに商品の位置を知らせ、後の対応をお願いします。



## ガスが漏れたときは、すばやい対応を

- 室内の火気全停用し、マッチをすったタバコなどを使わない。
- 器具内・ガス配管などを確認してください。
- 他人の商品となるので、コンセントや電気のスイッチは触れない。換気扇は絶対にまわさない。(回っている換気扇はそのままでいい。)

- とげらや道具などを十分に避け、高圧な部分で、ガスをおおりに漏らさず。
- 室内の空気を換えて、点検を受けるまでガスを使わないようにしましょう。



## 換気に注意しましょう

- 調理の中でガス器具を使用するときは、ときどき窓を開け新鮮な空気を取り入れてください。
- 換気扇は必ず回しましょう。

- OFC (燃焼) の器具は必ず換気扇 (強制) と給気口 (強制) を取りつけ、上向き換気口をつけましょう。
- 換気扇は必ず回しましょう。

